

事業所名

こぼんはうすさくら 立川若葉町教室

## 支援プログラム（参考様式）

作成日

2025 年

2 月

20 日

法人（事業所）理念		私たちは、障害児童通所施設の子育て、地域社会から必要とされる存在であり続けることを使命としています。 地域との連携を大切にし、共に課題を解決しながら、利用者やご家族を大事にしていきます。	
支援方針		<ul style="list-style-type: none"> <li>一人一人の発達課題に沿って、集団、個別と様々な体験活動を通して、生活能力の向上に結びつく支援に取り組んでいきます。</li> <li>家族の意向を受け止め、児童と家族を含めた支援をしていくことを通じて暮らしや育ちを支えていきます。</li> </ul>	
営業時間		月～金 12:00～18:00（ただし、12:00～13:00を除く） 土・長期休暇 10:00～16:10	送迎実施の有無 <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし
支 援 内 容			
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>登室時の身支度は、基本的な生活スキルの獲得を目指す機会と捉え、児童が主体的に取り組めるように環境配慮を行い、スモールステップでの支援によりスキルの獲得と自立への育ちを図ります。</li> <li>ご家族との情報共有により、健康状態の把握、維持、改善を図ります。</li> </ul>	
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> <li>集団プログラムの中で、公園での遊具やボールを使った遊びを中心に、発達の土台、体力の維持、向上につなげていきます。</li> <li>感覚の特性による個別課題については、特性に応じて、集団、個別でのアプローチにおいて、ご本人、ご家族と連携しながら課題の解決を目指します。</li> </ul>	
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> <li>一人一人の特性を把握し、集団プログラムの中での個性を大切に支援に取り組んでいきます。</li> <li>様々な活動を通して、協調性を養い、ルールを守ること、視覚的に分かりやすくする工夫や見通しを分かりやすく伝えることで、安心して次の行動に結び付けられるようしていきます。</li> </ul>	
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> <li>活動や生活場面での意思表示をご本人自身ができるように、伝える気持ちを尊重しています。選択肢の中で絵カードやイラストを使い、視覚的に分かりやすくし、自己決定の尊重を図ります。</li> <li>児童主体の会議プログラムでは、相手の意見を受け入れることや自分の意見を伝えることを目的としたコミュニケーションの取り方の練習を行っていきます。</li> </ul>	
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> <li>職員やお友だちとの関係性の中で安心してかわりかかってもてるように信頼関係を築きながら支援を行っていきます。</li> <li>児童同士のかかわり、実生活に結びつく体験活動の中から自己や他者を理解し向き合うことに寄り添い、個別課題には専門的側面から支援することを目指しています。</li> </ul>	
家族支援		移行支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>就労への移行支援</li> <li>ライフステージの切り替えを見据えた将来的な移行に向けた支援</li> <li>保育所等の併行利用先との連携</li> <li>地域における仲間づくりのへの支援</li> </ul>
地域支援・地域連携		職員の質の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業所内での研修の実施（本部研修を含む）</li> <li>保健、医療、福祉、教育等に関する外部研修の定期的な参加</li> <li>強度行動障害支援者養成研修の受講</li> </ul>
主な行事等		<ul style="list-style-type: none"> <li>夏祭り・ハロウィン・クリスマス会・初詣・節分・季節ごとの外出（いちご狩り、みかん狩り、芋ほり、川遊び等）</li> <li>公共交通機関を利用する外出（電車・バス）</li> </ul>	